

ひがし

No. 203

'52 9 / 15

広報

しらかわ

人口の動き

— 8月末住民登録人口から

世帯数	953	世帯
人口	3,935	人
転入	2	人
転出	4	人
出生	6	人
死亡	5	人

先月と比較して 1人増
昨年同月と比較して 6人減

■ 発行 / 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 企画広報課 ■ 印刷 / 関市中部印刷所



働く若者

日本人の98パーセントがむし歯をもちその半数しか治療しきれないという。

多忙な歯医者さんのよきアシスタントは予防のアドバイスも忘れません。

—この道に入ってまだ1年と少し
そのまなざしは真剣です。
久須見古田幸代さん (20歳)

主な内容

- 老人福祉を考える …P2~5
- 統合小・村長のお願い …P6
- 財政事情の公表 ……P6~7
- 成人病検診の結果 ……P8
- 消防ポンプ操法 ……P9
- 西欧に旅して(寄稿) ……P10
- 子供会活動 ……P11
- 秋の交通安全運動 ……P12
- 村誌編さんだより ……P13
- ふるさとへの便り ……P14
- けいじ板はP8・9の下欄



生きがいある老後のために

老人福祉を考える

長年にわたって社会に尽くしてこられたお年寄りの方々に感謝するとともに、老後の精神的な安定をねがい、九月十五日を「敬老の日」として国民の祝日に定められてから今年で十年を迎えました。

そこで今回は「老人福祉」をとりあげ、老人福祉対策の現状をみてみました。

伸びる平均寿命

村の八十八歳以上は二十一人
国民の平均寿命は戦前で男女とも五十歳に満たなかったのが戦後になって急激な伸びを示し、世界の長寿国の仲間入りしています。

本村でも長生きするお年寄が増え、十年前は満八十八歳以上の人が九人でしたが現在では二十一人になっています。

同じ長生きでも健康で長生きしたいものですが、村の長寿ベストテンに入るお年寄り全員が、家族と同じように起居しておられることはたいへんおめでたいことです。

中でも最高齢者の桂川虎雄さんは秋になったら今年も東京の娘の

ところへ出かけると張り切ってみえます。

今年も村長が敬老の日を前に数え年八十八歳以上のお年寄り二十七人を訪問し、村からの記念品を

贈り、長寿を祝福し長年の労苦をねぎらいました。

また、十五日の敬老の日には第三回老人まつりが東白川体育館で開かれ村のお年寄り三百人が集まり、「まだまだ若い者には負けないうぞ」と元気なところをひろうし楽しい一日を過ごしました。

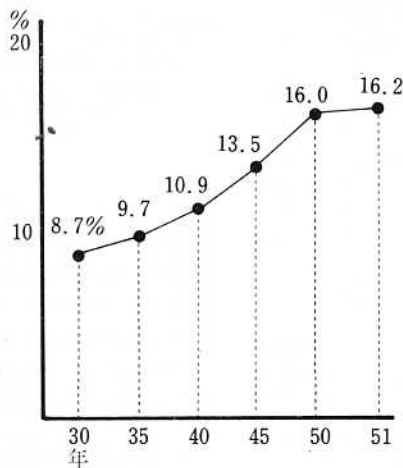
高齢化する村の人口

戦後の計画出生の普及による出生の減少と、公衆衛生の発達と医療の向上による死亡の減少により人口に占める老人の割合が増大してきました。

農山村である本村においては特にその傾向が強あらわれています。将来も村全体の人口が増えないかぎり、この現象は進んでいくでしょう。

こうした現実を前向きに受けとめ、老人福祉を考えなければなりません。

村の人口のうち
65歳以上の占める割合
(各年12月末調べ)





老人福祉対策の現状

戦前の家族制度は老人の地位を確立させていましたが、戦後徐々に核家族化が進み、さらに老人をとりまく社会環境が複雑になってきました。

このような情勢は老人の生活をきわめて不安定なものにしていることから、社会発展の功労者であり社会的弱者であることを合せ考えて昭和三十八年に老人福祉法が制定されました。

またこれより先、国民年金法が制定されて、昭和三十四年十一月

から七十歳以上の老人に月額千円の老齢福祉年金が支給されるようになって、おじいちゃん、おばあちゃんが気楽に使えるお金として親しまれてきました。

当初月額千円であった年金も年々改善され現在では一万五千円になっています。

ねたきり老人のために

生きがいのよりどころをどこにも求められないお年寄りがあります。いわゆる「ねたきり老人」と

いわれる方々です。

現在、村には二十人のねたきり老人がみえます。

ねたきりになってしまった方はお気の毒ですが、看護される家族の方も大変です。五年、十年と長い間の看護は当事者のみが知る苦労です。

看護も単調になり、ねたきりのお年寄りは社会から囿絶されがちです。

村では昭和四十九年六月から家庭奉仕員二人を配置し、現在ねたきり老人八人と独居老人五人の家庭を訪問し、食事の世話、衣類の洗濯、補修、部屋の掃除、身の回りの世話、話し相手など意欲的な活動を進めています。

また昭和四十五年から老人用特殊寝台を購入し、ねたきりのお年寄りの少しでも快い生活を願う希望者に貸し出しています。

ひとり暮らしの

老人のために

現在ひとり暮らしのお年寄りは十五人です。

子供夫婦が都会へ出たきりでひとり寂しく暮らしている例が多く、なにかと不便な思いをされているでしょうし、万一不測の事故を考えますと常に安否の確認が必要になります。

昭和四十七年から独居老人家庭に有線電話機を貸与し利用料を無料にし、住民係から毎日電話して生活状況をは握っています。

▽ 親子のような心のふれあいがみられるひとり暮らしの井端じょうさんとホームヘルパーの安江トシ子さん（右）



また、希望により家庭奉仕員が生活の手伝い、話し相手になったりしています。

気がねなく

病氣治療ができるように

年をとるとともに病氣にかかりやすく、その病氣も慢性化すると同時に多くの病氣がいっしょにおこりやすくなります。

そして老人の地位が不安定になり医療費の負担が重荷になり医療を受けるさまたげになっていました。

老人が誰にも気がねなく医療を受けられるようにと老人医療費助成の要求が高まり、本村では昭和四十六年十月一日から七十五歳以上の老人に対して医療費の支給を始めた。

その後、四十八年から国の制度に移行して七十歳以上に、さらに

五十一年一月から村単独の事業として六十九歳以上の老人に対して医療費の支給を行って今日に至っています。

最近、この老人医療制度の功罪についていろいろといわれています。「老人が家の若い者に気がねなく病院へ行けるようになった」「いや、そのために病院が老人のたまり場になっている」など……

しかし、本村の場合、年間一人当たりの受診件数をみてみますと、村全体で約五件、老人で約七・六件となっています。老人の方がやや上回っていますが、老化にともなう病氣の多発からみて当然のこと、医療費無料にともなう乱受診はないといえます。

健康で豊かな老後のために健康管理を十分に行ってゆく必要があります。

老 人 福 祉

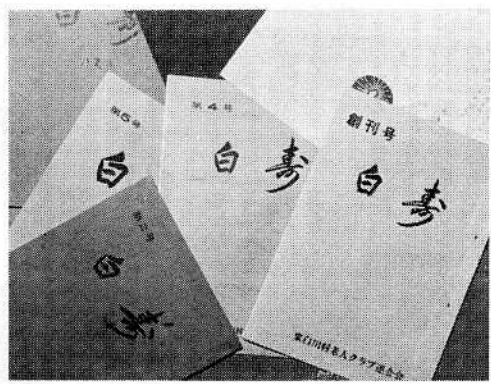
自ら生きがいを求めて

越原日向平に亡くなられた安江房吉さんをリーダーとしたお年寄りの小さなボランティアグループがあって、日向平の道路修理をしていました。そのグループが母体となって老人福祉法のできた昭和三十八年の暮れに越原下区に老人クラブ「長寿会」が誕生しました。以後それぞれ地域老人のねがいにより村内に七

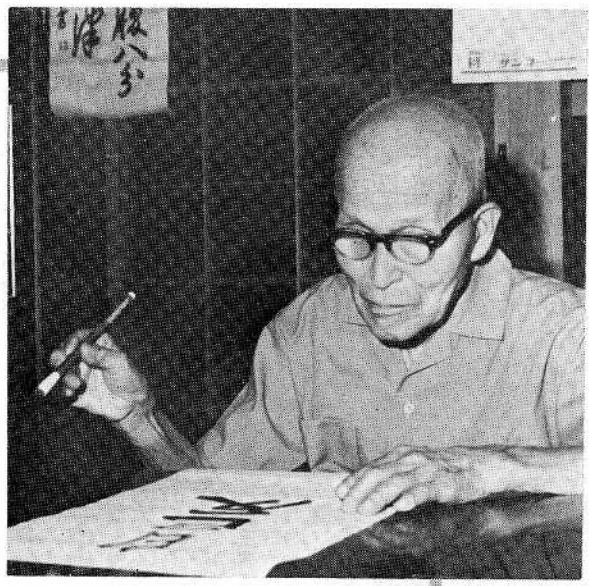
つの老人クラブが誕生し、老後の生きがいを求めて行っているクラブ活動の内容は県下でも高く評価されています。みんなで考えよう

老後の幸せ

今年の老人福祉週間は九月十五日から二十一日までです。この機会に、老人は積極的に社会の一員として生活し活動できるような老人の役割について話し合い若い世代はやがてくる自らの問題として老後について話し合い、理解を深め、老人との交流を深めたいものです。安心して老後を送るためには、現在の老人に対する社会保障・福祉対策は十分とはいえません。しかし、物質的に恵まれていても心がまずしければ幸せな老後といえないでしょう。老後をどのように生きるかは一人ひとりの人生にとっても、家庭にとっても、社会にとっても重要な課題です。



▷ 村の老人クラブで発行する内容豊かな「白寿」も今年第九号が発行されます



△「心の修養に」と「すずり」に向われ、る村の最高齢者桂川虎雄さん(94歳)

『早寝、早起き腹八分目 適度な労働長生きのこつ』

桂川さん宅を訪問すると、最近腰が痛いといって横になってみえましたが、広報で紹介したいというと、「それじゃ元気なところを見せませうか」と筆を取り、枯れた達筆で「自己反省 人悪い人が悪いと思うなよ 我が身良ければ人も良くなる」 ……と現代人が忘れてる一句 お話の中でも「昔とくらべると風紀が悪くなった。忠・孝の観念もうすい。道徳教育をもっととり入れてもらいたい」と。健康法を伺うと、「たえず衛生観念をもち、衣食住すべて健康のために工夫する。早寝、早起き、腹八分目、適度な労働が長生きの秘けつ」毎日小魚、こんぶ、さつまいもを欠さないそうです。

インタビュー

村の八十六歳以上の人たち — 敬称略 —

- 陰地 桂川 虎雄 (94歳)
- 西洞 古田てつよ (94歳)
- 大明神 安江 準一 (93歳)
- 大沢 今井喜一郎 (93歳)
- 大明神 松岡 清介 (93歳)
- 西洞 安倍 よし (93歳)
- 神村 早瀬きくよ (92歳)
- 陰地 松岡まつよ (90歳)
- 栃山 安江 なか (90歳)
- 陰地 松岡 むら (90歳)
- 加倉尾 藤井 るい (89歳)
- 大沢 今井悦次郎 (89歳)
- 柏本 村雲 泰六 (89歳)
- 中通 村雲 盛一 (89歳)
- 日向 安江 ひさ (89歳)
- 上親田 大坪政太郎 (88歳)
- 大口 古田ひさの (88歳)
- 大沢 今井マヌノ (88歳)
- 陰地 安江すゑの (88歳)
- 宮代 山本 志げ (88歳)
- 下親田 島倉きくの (88歳)
- 日向 伊藤 嘉一 (87歳)
- 中谷 小池 峯吉 (87歳)
- 大明神 田口 てい (87歳)
- 大口 村雲 ちゆう (87歳)
- 日向 安江 銀一 (86歳)
- 柏本 栗本 平市 (86歳)
- 宮代 中丸 久作 (86歳)
- 栃山 松岡 きの (86歳)
- 大沢 今井 志か (86歳)
- 平 神戸 千賀 (86歳)

統合小学校の建設事業

工事を一時延期し 全村民の協力体制づくり努力

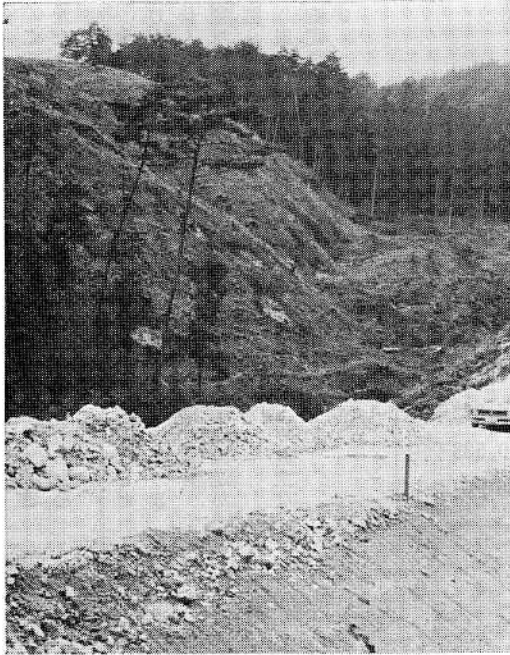
村長 安江 多策

老朽校舎による危険を解消し適正な規模の学校で教育環境を近代化することにより、教育効果をいっそう高めるという方針による統合小学校建設計画が樹立され、この計画に基づいて事業に着手されました。しかし、一部の地区で理解が得られないまま事業が進められてきたため、組長の行政委託事務返上などの問題にも発展してきました。

このため工事を一時延期して話し合いが行われることになりました。この大事業が全村民の深い理解と協力によって一刻も早く軌道にのるよう、工事を一時延期した村長の考えとお願いです。

より良い教育環境のもとで、のびのびとした学校生活と好ましい人間関係の中で、時代の掛け橋と

なる教育のすみやかに実現できるよう、小学校統合計画に基づき進めてまいりました。



一刻も早い円満解決で工事再開を待つ立木伐採の終わった校地（北側の一部）

学校統合建設事業も、その後村内多数の方々のご協力とご支援に、昨年十二月校地として決定いただいたことから、用地取得、立木伐採、整地作業、あわせて取付け道路、通路路関係など現場の工事着工への準備を進めてまいりました。

一方、じっくり時間をかけ建築の基本計画を練り、恵まれた自然を十分生かした教育の場実現の願いをこめ、理想的な教育環境づくりをめざして、設計業者を決定し建設基本設計に着手してまいりました。

本事業はご承知のように村内三つの小学校を一つに

もとり、この問題には、地域

統合するという大事業であり、しかも人づくりの基本の場である学校教育に必要な施設づくりで、極めて重要な事業であります。この大事業を達成させるには、もとより皆様方のご理解とご協力が必要であり、しかも全村民がごぞってのご支援を賜ることは申しあげるまでもありません。

しかしながら、いまだ十分な理解を得られない方々のあることは周知の状況であり、この大事業進捗途上いまだこのような状態であることは全く一人私の不徳のいたすところと深く反省いたしております。

教育百年の大計であり、こと教育の場であるその施設づくりであります。また教育そのものの問題であり、たとえ反対少数といえども軽率にとりあつかうことは厳にいましめなければなりません。全村民の協力のもと、明るい村づくりの体制の中から、この大事業の達成に願いをこめて、現在予定の校地造成工事着工をしばらく延期して話し合いをさらに進め、理解と納得へ最大限の努力を続けたいと存じます。

今までご協力ご支援いただいております方々も、現時点をご理解賜りご了承いただきたく存じます。

以上、当面の問題経過と考え方を申しあげましたが、豊かな郷土づくりの根源である人づくり、そして我が郷土を担う、次代を担う人づくりのその基本の場としての小学校統合事業であり、よりよい東白川の教育環境と新しい時代にマッチしたきめ細かな教育の機会を創造することを基本として教育振興を進めてまいります。

当然英知を傾けてこの大事業に取り組むことは論をまちません。二十一世紀へ羽ばたく子供たちのために、しかも純粋な自然に近い子供たちのために、大人たちの住民間のあつれきは極度にさけ、純粋な教育の立場に立って寛容と互譲の暖い愛の精神で一日も早く理想の教育の場をみなさんの手で造りあげていきたいものです。

には地域としてのそれぞれの考え方の違い、そぼくな願いはあるでしょうが、こんな中でその理解しがたい原因が行政への不信であるとするれば、消防団問題などの行為は、もとより筋道は違いますが、その気持は理解できるものであります。

しかしこうした問題も、本村のそぼくで人間的暖さ、強い連帯感など、山村特有の暖い人間愛で、己をいましめながら全村民の大極の見地で、良識ある世論の盛り上げで速やかに解決できるものと信じます。

◇ ◇

以上、当面の問題経過と考え方を申しあげましたが、豊かな郷土づくりの根源である人づくり、そして我が郷土を担う、次代を担う人づくりのその基本の場としての小学校統合事業であり、よりよい東白川の教育環境と新しい時代にマッチしたきめ細かな教育の機会を創造することを基本として教育振興を進めてまいります。

当然英知を傾けてこの大事業に取り組むことは論をまちません。二十一世紀へ羽ばたく子供たちのために、しかも純粋な自然に近い子供たちのために、大人たちの住民間のあつれきは極度にさけ、純粋な教育の立場に立って寛容と互譲の暖い愛の精神で一日も早く理想の教育の場をみなさんの手で造りあげていきたいものです。

6億8千万円

51年度決算見込みから

衛生費



予 防 費 5,429千円
 環境衛生費 6,614千円
 母子センター費 10,303千円
 など

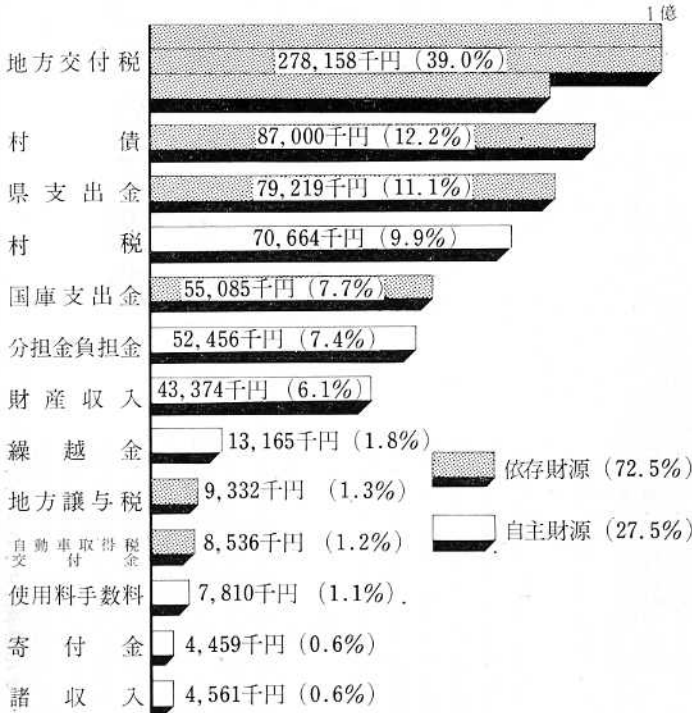
議会費・総務費



議会運営費 12,883千円
 一般事務費 56,022千円
 財産管理費 10,538千円
 村有林管理費 11,686千円など

この公表は、村の財政事情を皆さんに広く知っていただき、村の財政に対するご理解とご協力を得るため毎年行なっているものです。
 今回は昭和五十一年度の決算見込みのあらましをとり上げました。五十一年度は特に大きな事業はありませんでしたが、総合計画に基づく道路の整備、教育、福祉施策の内容充実などを重点として総合的に推進が図られました。
 厳しい財政運営の中で皆さんの協力により健全な安定路線への方向づけができたと考えられます。

歳入総額 7億13819千円



民生費



社会福祉総務費 10,001千円
 老人福祉費 14,334千円
 認可保育所費 27,461千円
 へき地保育所費 3,943千円
 児童手当 9,850千円
 など

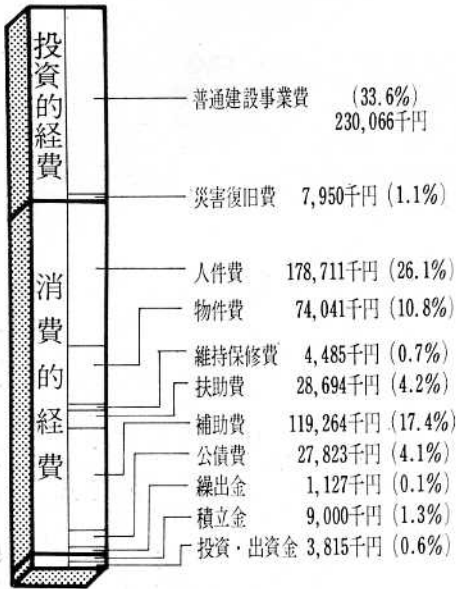
国民健康保険特別会計

歳入総額 104,902千円
 歳出総額 106,213千円
 医療費の高騰により1,311千円の赤字決算となりましたが、これは52年度で補てんされます。
 歳入の主なものは国庫支出金64,252千円で61%、保険料33,501千円で32%です。歳出では保険給付費が91%を占めています。

病院事業会計

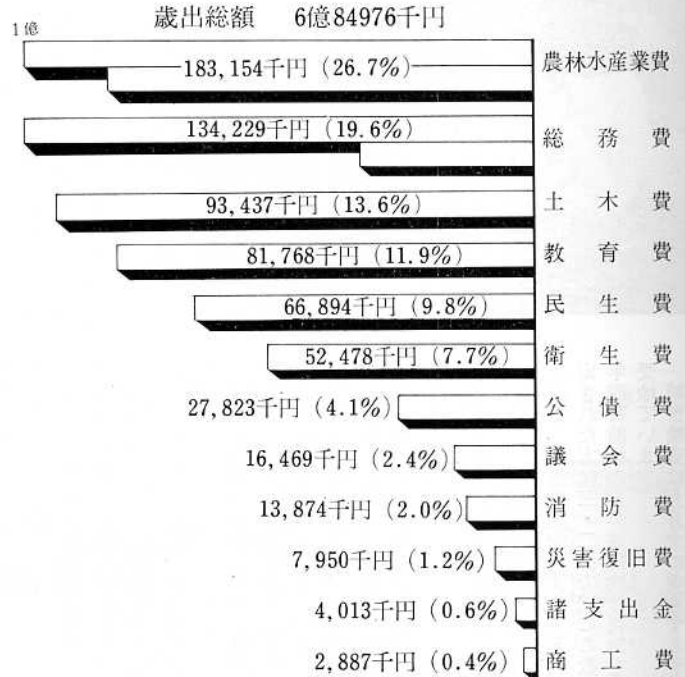
収入総額 87,126千円
 支出総額 87,126千円
 年度中途の6月1日から医師2人の着任により診療体制は正常化されましたが、経営基盤の弱少長期にわたる医師不在の影響などにより収益減。諸物価の高騰による経営費の増大により、一般会計から28,418千円の補助を受けました。

性質別の歳出状況



財政事情の公表

こう使われた



農林水産業費

農業振興費	16,613千円
農地費	73,409千円
村民センター管理費	36,325千円
林業振興費	6,141千円
林道開設改良費	29,173千円
など	

教育費

事務局費	21,494千円
小学校費	12,354千円
中学校費	4,329千円
義務教育振興費	9,833千円
学校給食管理費	12,354千円
公民館費	10,768千円
など	

土木費

土木管理費	10,781千円
道路橋梁維持改良費	11,704千円
道路新設改良費	70,952千円
など	

村民1人が納めた
村の税金 17,930円



村民1人に使わ
れたお金
173,800円

地方債(村の借金)

二億九千万円

皆さんのご家庭で、一度に多額のお金を必要とするような大きな事業、例えば家を新築する時などの資金は、一部を貯金などから払い、残りは金融機関から借りるのが普通でしょう。

これと同じように、村でも、道路を開設したり、公共施設の建設など大きな事業には、国や県からの補助金、村の一般財源、そして残りは借金をして何年もかけて返済しています。

昭和五十一年度末現在の借り入れ残高は二億九千四百七十五万四千円です。

その主なものは……

道路整備(開設、改良、橋、舗装など)……一億二千八百万円
村民センター……五千六百万円
村有林の整備……三千九百万円
その他、各保育園、グラウンド、母子センターなど厚生施設の建設に一千百万円。消防施設の整備に七百万円などがあります。

このように借入金金のほとんどが村の財産として残るものです。ただ借金があるのではなくそれだけ私たちの財産が増えていくといえます。

債務負担は三億五千七百万円
村が直接借り入れるものではなく、他の団体や組織が借り入れた金額の返済を村が肩代りするものです。



成人病予防

定着した予防検診

今年を受診は 1,048人

今年も八月九日から三日間、岐大医学部衛生学教室、健康院、それに保健所の協力を得て成人病予防検診を実施しました。

この予防検診も今年で十九年目十八回を数え、また現在のような検診システムになってから七年を経過しました。

そこで、この七年間をふりかえりながら、今年の検診を反省し、今後の予防検診のあり方を考えてみたいと思います。

今年の受診率は

六一・八パーセント

今年の予防検診対象者千六百九十五人のうち、受診者千四十八人で受診率六一・八割となっております。受診率の推移をみますと、こ

こ五年間、六〇割を上回り安定してきました。

このように毎年千人前後の健康な人が定期検診を受けるということ、この予防検診が皆さんの中に定着してきたといえます。

「健康だからこそ定期検診を受け健康度の確認をする」という意識がより多くの人の中に浸透してきていることはたいへんよい傾向です。

しかし、グラフで示すように、三十代、四十代の働き盛りの男性の受診率が五〇割を下回っています。受診されない方でも、勤め先などで定期検診を受けておられる方は問題ないのですが、健康を過信して受診されない方は、この検診が「健康な人のための検診」であることをよく認識していただきたいものです。

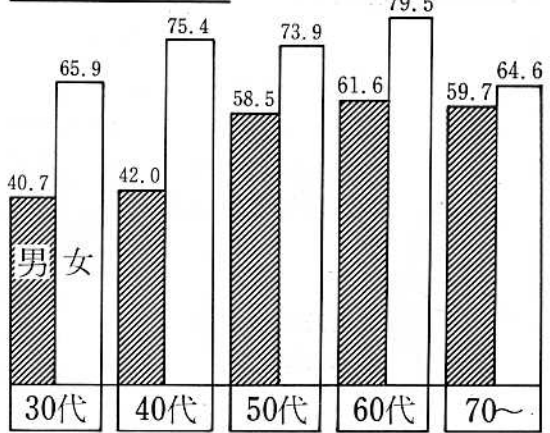
九四・六パーセントの人が

健康を確認

今年「精密検査を要する」と判定された方は三・二割で、ここ数年四割前後の人が要精検の判定を受けています。

精密検査は九月末に実施する予

年代別：男女別受診率



定です。

血液検査の結果は、九月末までに個人通知します。五年前の結果と比べ貧血傾向の人が少なくなっているようです。これは食生活の改善によるものとみられます。

今後の課題

この予防検診を継続するためには他機関に頼っている現在の状態から徐々に脱皮し、村だけで実施していくことを考えなければなりません。

現在活躍中の成人病推進員の方々を中心として、村民全体が、自分たちの健康は自分たちで守るという意識をさらに強くし、安定した型での検診を継続したいものです。

ひがししらかわ

■ 戸籍の窓 (八月)



誕生おめでとう
ございます。

(大 沢) 今井 久樹 治樹
実千世 長男
(上親田) 安江 裕助 敬仁
由美子 長男



いっまでも
おしあわせに

今井 孝貴 (宮代)
有川 周子 (鹿兒島県)



おくやみ
申しあげます

古田 とみ 73歳 (宮代)
安江金三郎 87歳 (上親田)
安江 なお 77歳 (曲坂)
安江 角一 78歳 (黒渕)

■ 善意の寄付紹介

次のような寄付がありました
それぞれのご意志によって活用
させていただきます。

— 敬称略 —
現金十万円 神戸正弥 (平)
— 亡くなられたお父さんの香
典を社会福祉事業にと。
現金十万円 安江妙子 (平)

守り手消防団

訓練の成果をひろこう

村操法 第二ポンプが優勝 大会で

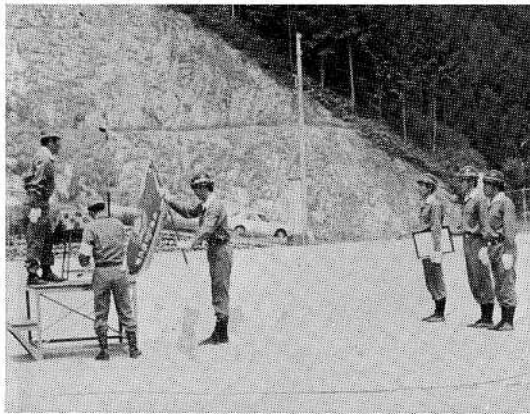
第十三回東白川村消防操法大会は八月二十一日総合運動場で小型動力ポンプ十三台が参加して行われました。

たのもしい郷土の

この大会は第二十二回（昭和五十三年度）加茂郡消防操法大会出場の選考もかね、消防団員の操法技術の向上と土気の高揚を図り、火災の鎮圧に有効適切

な消防活動を確保しようとするのが目的です。

午前八時三十分、ラッパ班による集合ラッパを合図に、盛夏服に身をこためた団員が整列し開会式に臨み、第一分団安江徳之さんの



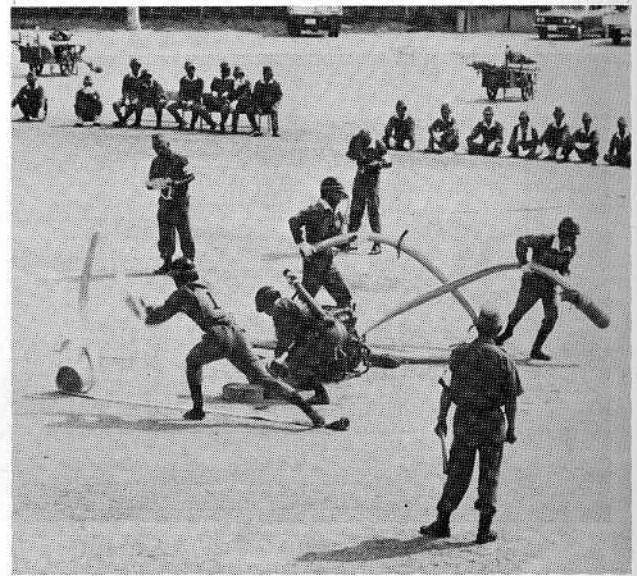
△ 優勝した第1分団第2ポンプの選手の皆さん

力強い選手宣誓がありました。

小型動力ポンプ操法は、今年度大幅に改正され、競技人員も五人から四人になり、各動作も変りました。

それだけに訓練も「操法の手引き」と首つびきで一からやらなければならず、選手はもちろん指導にあたった幹部も例年以上に苦勞があっ

ホース延長55秒、徹収110秒のきびしい基準タイムと確実・迅速な操作行動、士気、規律などを競う



たといえます。しかし、連日の猛訓練で各ポンプとも改定操法を完全にマスターし大会に臨み、実力を十分發揮しただけに優劣がつけがたいほどでしたが、県消防指導員の山田桂二さんから五人が審査を担当され、厳しい採点の結果第一分団第二ポンプが優勝しました。

■ 上位入賞ポンプ

- 優勝 第一分団第二ポンプ
指揮者 安江徳之（下親田）
一番員 安江賢一（平）
二番員 安江純徳（下親田）
三番員 安江竹司（平）

村操法大会優勝ポンプ

昭和44年度	第1分団第1ポンプ
昭和45年度	第1分団第1ポンプ
昭和46年度	第3分団第9ポンプ
昭和47年度	第2分団第7ポンプ
昭和48年度	第1分団第4ポンプ
昭和49年度	第3分団第12ポンプ
昭和51年度	第1分団第4ポンプ

- 補欠員 安江計幸（下親田）
二位 第一分団第四ポンプ
三位 第三分団第十一ポンプ
四位 第二分団第七ポンプ
五位 第一分団第一ポンプ

「亡くなられたご主人の香典を教育費にと。」

現金三万八千八百円

立正校成会東白川分会
現金四万六千四百円

多治見信用金庫
一 学校図書の購入費に。

■ 十月一日から郵便貯金月間

郵便貯金は、皆さんからお貯りしたお金を国の財政投融資の重要な財源として地方公共団体などに貸し出し、皆さんの暮らしに關係の深い住宅、病院、学校の建設、公害の防止、道路など生活環境の整備、農林漁業および中小企業の近代化などに大きく役立てられています。

私たちの村へは、道路、教育施設などの建設に一億六千九百七十四万円が融資されています。郵政省では、こうした郵便貯金の働きを広く知っていただくため、「豊かな暮らしと住みよい社会をつくる郵便貯金月間」を十月一日から一カ月間繰り広げます。

また、この期間中十月二十四日から一週間を「郵便貯金週間」として、郵便局でいろいろな行事を実施します。

■ 歌会始めのお題は「母」

昭和五十三年歌会始めのお題は「母」と定められました。詳しくお知りになりたい方は企画広報課へお尋ねください。詠進要領をお送りします。



西欧に旅して

日向 桂川政一

【その二】

前号に引き続き桂川政一さんの西欧六カ国の旅行記を紹介します。前号ではイタリアとフランスでしたが今回はイギリスの主都ロンドンの模様です。

ロンドン

施設訪問と夕食会

ロンドンでの第一日、軍人養老院（俗称）を訪問した。案内の老兵さんが真つ赤な礼服の胸に勲章や徽章を付けて出迎えてくれた。私たちは四班に分かれて院内を見学した。私たちの案内人は八十五歳で第一次世界大戦に参加したといていた。

ここには二十二年以上軍隊について、現在身寄りのない人たち四百五十人がいるとのこと。午後は郊外にある公立の老人ホ

ームを訪問した。収容人員五十人最高年齢九十九歳、最低年齢七十二歳。設備もよいし、みんな小ぎれいな服装でもあるし、たいへん明るい感じだった。

夜は、屋間案内してくれた老兵さん四人と、老人ホームの職員などを迎えて、ホテルで夕食会が開かれた。「男子は必ずネクタイをして出席せよ」との指示だったので堅苦しい感じで出席した。

まず食卓につき同席の人たちと談笑しながら飲み物（ワイン、ビール、コーラ、ジュースなど、これらは自

弁）を飲み順次運ばれる料理を食べる。

だいたい食べ終えるころから話し合いが始まるのがしきりだ。話し合

いは通訳を通じて先方の話を聴くのみだった。その後先方の要望で



△ 明るいふんい気のロンドンの老人ホーム

全員で「螢の光」（これはスコットランド民謡）をせい唱した。次は老兵さんたちの歌。こちらはだれいとうとなく「さくらさくら」を歌い出し、長野県の人たちが県歌「信濃の国」を歌った。最後は日本民謡「黒田節」を紹介し、言葉は通じなくても和気あいあいの中に記念写真をとり拍手で送って散会した。

（今回はオランダです）

季節の話題

いよいよ本格的な秋がやってきました。暦の上では八月八日の立秋以後は秋なのですが、太陽がサンサンと照りつけたり、樹木の葉が青々としている間はなかなか感じががませぬ。しかし、日も短くなり、さわやかな風が吹きぬけると、もうまぎれもなく秋の気配です。

季節の話題

◇ ちょうどこの季節は、夏の間にとまっていた疲労が出る時です。汗をかくー水分をとるー汗と塩分・ミネラル分が出るーこうした悪循環で栄養不足になったためにバテるのです。サッパリしたものを……とありがちですが、味、香り、色をくふうして食欲を出すように心がけたいものです。

◇ 疲れをとるにはよく眠ることも大切です。

睡眠をよくするには快適な寝具が必要です。フワリとしたふとんは心地よく夢路に誘い入れてくれますが、フワリしすぎても疲れがとれません。そうかといってせんべいふとんは寝つかれないものです。

昔からよく敷き三年、掛け五年といわれています。つまり綿の打ち直しの目安をいったものですが、今使っているふとんの綿が化学繊維のものなら、クリーニング。昔どおりの綿なら打ち直してはいかがでしょうか。

遊びは子供の生活

盛り上げたい子供会活動

子供の手による

子供会活動

「私たちがやろうと思ってたらおじさんやおばさんが全部やってしまうので、つまらなかった」と言っている子供がいました。

子供の手による子供会活動が望ましいのですが、今までややもすると、大人の手による子供会活動がめだちました。



△ 子供会ソフトボール大会で優勝した平東チーム

今年度ジュニアリーダークラブの誕生もあって、子供会活動はすばらしいものがあります。

一度に何もかも子供たちだけにやらせようとしてもできないと思います。私たちは根気よく、子供たちの自主性と社会性を育てたいと思います。

子供会とスポーツ少年団

本村にはスポーツ少年団がありません。このことについていろいろの意見があります。

スポーツ少年団は子供会と違って小学校高学年の希望者が対象となり、一人一種目に限られます。

本村がスポーツの面で他市町村と同等のレベルを保つには、スポーツ少年団の必要性を唱える意見もありますが、現在では、スポーツ少年団をつくる準備はしていません。それは、スポーツ少年団ができる

ことによって、子供会の活動が事実上できなくなるからです。そのほか、指導者の問題などもからみながら、対象者が少ないために種々の問題もでてくるからです。

いづれにしても、子供たちは、だれにもしやまされず、大きくはばたきたい心理が働いて、スポーツ活動を望んでいます。ですから子供会活動の中にいろいろのスポーツ活動をとり入れていきます。

スポーツ少年団がなくても、東白川中学校の部活動はりっぱな成績を収めています。

子供会活動がジュニアリーダークラブ員の協力ですばらしいものになればなるほど、スポーツ少年団以上の体力づくりができると思います。

子供会

親善ソフトボール大会

八月十四日総合運動場で第六回子供会の親善ソフトボール大会が開催されました。

単位子子供会から十四チームが参加し、日ごろの練習の成果をいかんなく発揮しました。今年は、どのチームも練習量が豊富なため大人顔負けのプレーがあり、応援する育成者をびっくりさせていました。

成績は次のとおりです。

- 優勝 平東チーム
- 優 勝 柏本・久須見チーム
- 三位 大明神チーム

赤ちゃんに異常を認めたときは、お母さんの落ち着いた処置と心の持ち方が大切です。

医師を迎えるまでの常識として次のような応急手当や注意事項はぜひ知っておいてください。熱が出たと思ったら

静かにねかせ体温を計る。
本人がいやがらなければ水枕をする。
手足が冷えたら、くるんだり湯たんぽを。
夜中の場合、一般状態がよく三十八度五分以下のときは常備薬（熱さまし）で様子を見せ

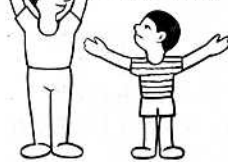
医師にみせる。
ひきつけたら
気をおちつけ、はしに布を巻き歯の間にはさみ込み舌をかまないようにする。
衣服をゆるめ、安静を保ちます。けっしてゆすったりしないでください。

熱を計り熱があれば冷やす。
ひきつけが五分以上続いたりくり返し起る場合は精密検査が必要ですよ。

吐いたら
嘔と共に吐いたり、吐いた後ケロリとしている時は心配ありません。普通食を与えてもよい。

吐き気がとまらないときは、顔を横に向け気管に汚物が入るのを防ぎます。
・何度も吐いたり、時間をおいて激しく泣いたり、顔色の悪い場合は、腸重積やヘルニアなども考えられるので、一刻も早く病院へ連れて行く。
・吐いて元気がないときは、固形食をやめ、水分（ぬるま湯うすい番茶など）を二十ccから五十cc何回かに与える。

暮らしと健康



赤ちゃんの応急措置

- 下痢した
- 便をかならずみせる。
- 元気で食欲のあるときは、ミルクをうすめたり、湯ざまし番茶を十分与える。
- 吐いたり、元気がないときは急に脱水脳症状をおこすことがあるので、病院へつれて行く。
- 便秘したら
- ・乳不足がないか、熱がないか注意する。
- ・便秘が習慣にならないよう食事につけ、腹部のマッサージをし、毎日排便させるようにする。

似てるかな



わたしのおとうさん

五加小2年 山口あゆみ

一宮代山口直視さん長女一

わたしのおとうさんは、うちの工ばではたらいっているの、あまりあそべません。でも日曜日や、ひまな日はあそんでくれます。おふろのとき、わたしが話をしていると、「まった、まった」といって大きなおならをします。とてもおもしろいおとうさんです。

子供とお年寄りを輪過から守ろう

二十一日から秋の交通安全運動

楽しかった夏休みも終わって、子供たちは新学期。これまでの開放的な毎日から生活のリズムが変わり、注意力が散漫になって、交通事故に結びつきやすくなります。

また、お年寄りも外出の機会がふえ、事故も多くなります。

そこで、今年も九月二十一日から十日間、全国一せいに「秋の交通安全運動」がくりひろげられます。

しかも、岐阜県では、死者数が昨年より二十一日も早い八月六日に百人に達し、昨年同期と比べ十人も上回り、増加数で全国一とい

う最悪の事態となり、「交通事故多発非常事態宣言」が発令されました。

私たちの村では、人身事故がすでに三件、傷者四人（昨年一件）また、物損事故も十一件発生しています。行政処分も六月末までで九人が免許停止処分を受けています。

先日、「一ドライバーより」投書がありました。

その方は「ある観光バスの運転手の話に腹が立ちベンをとりました」ということで、その観光バスの運転手の話というのは……

村の人を乗せ白川口方面へ行く

途中、道の譲り合いでマナーの悪い運転手と出会い、「よくこちらへくる仲間から「東白川は飲酒運転は多いらしいし、駐車の仕事も目に余る」と聞いていたが、ほんとうにむちゃな追越しや、マナーの悪さには驚いた。よくこれで大きな事故がないものだ……」

こうした村外の人にも「東白川村は〆」と思われていることは悲しいことです。

交通道徳は常に「非常事態」です。車を運転する人も歩く人も、すべての人が自分自身のこととして真剣にうけとめたいものです。

今年の運動の重点は

「子供とお年寄りを交通事故から守ろう」

「シートベルトを着用しよう」

「夜間の事故をなくそう」

暮らしのカレンダー

*献 血

- ・とき 9月26日
- ・ところ 越原小上校舎・役場前
ご協力をお願いします

*郷土歌舞伎の公演

- ・とき 9月29日午後3時半開演
- ・ところ 中学校体育館
文化協会歌舞伎愛好会の皆さんによる初公演

*各小学校運動会

- ・とき 10月2日
- ・ところ 各小学校校庭
子供たちは張り切っています皆さんの参加で盛り上がり

*中学校修学旅行

- ・とき 10月3日～5日
- 東京・日光方面へ2泊3日で行きます

*胃ガン検診

- ・ときとところ
10月5日～五加公民館前
6日 役場前
7日 越原小上校舎
- ・対象者 満40歳以上の希望者
- ・費用 1人800円

*結核第2次検診・精密検査

- ・とき 10月11日
- ・ところ 役場前
- ・対象者 第1次検診未受診者要
精検者

*小児マヒワクチン投与

- ・とき 10月13日
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 48.10.1～52.6.30生れの乳幼児

*壮年ソフトボール大会

- ・とき 10月16日
- ・ところ 総合運動場
40歳以上の人で地域別にチーム編成

*インフルエンザ予防接種

- ・とき 10月19日・20日・21日
- ・ところ 各小中学校、各保育園
- ・対象者 満3歳以上の希望者



加舎尾 田口金雄・瑞子さん夫婦

金雄さんは木工業を営み神具を作製。商工まつりなどでおなじみのエレキバンド「リバーズ」のドラムを担当する現代的な青年。

瑞子さんは平服田孝彦さんの妹さんで学生時代は体操部に籍をおいたという健康なお嬢さん。

奥さんからご主人への注文「今のままの“ていしゆ閑白”でいてほしいが、いたわりの心も忘れないで」

ご主人からは「ひとこといったら、五ぐらいまで気がつくようになってほしい」……奥さん「ちよっと無理」……

“年寄りになってから一諸になってよかったなあ”と思えるような夫婦でありたい。

世帯主 時雄さん

3月12日結婚



大明神 安江時信・みね子さん夫婦

時信さんは平今井邦光さんの弟さんで51年3月名古屋から村に帰り現在はお兄さんと板金業。

つりが三度の食事より好きで、遠く九州あたりまでつりに出かけるつりマニア。また野球も好きなスポーツマン。

みね子さんも49年に岐阜から村へユーターン。学校卒業と同時に小さなころから好きだった縫製の道に進み10年、現在は家事に専念。

「どんな家庭に」と伺うと「でき上がってみなくはわからないがごく平凡で、楽しく明るい家庭に」

10月20日ごろかわいい二世誕生の予定です。

世帯主 定二さん

3月23日結婚

民俗風俗あれこれ

人の一生



—村誌編さん室だより—

【結婚その三】

荷 渡 し

嫁入りの前日あるいは当日の朝、嫁の荷物が運ばれる。

いまの豪華な和洋家具や電化製品、品いっばいの嫁入支度に比べると昔のそれはきわめて質素であった。母親がせつせと織って、夜遅くまでかかって縫いあげてくれた衣類などを納めた箆笥一棹（たんすひとさお）・長持（ながもち）一つ・じょうぶな木綿寝具一組、それに身の回り品を加えた程度であった。そして、これらの荷物は、すべて人の肩や背によって運んだ。

荷が嫁の家を発つときは、

「わたしや行きます」

両親さらば

袂（つま）を片手に

いとまごい

「蝶よ花よで育てた娘

今日は他人の手にかかる

など、哀調のこもった長持唄が歌われたりして、娘を育てた母親や女たちがそっと涙をぬぐう姿も見られた。

荷物を運ぶ人たちは、出立（でたち）前の振舞舞（ふるまいざけ）に威勢もよく、

「立場立場で酒さえ飲みや

こんな荷物は苦にならぬ

と歌いながら道中をする。

両家からの道のりの中ほどの所

で家を借り、渡す側と受け取る側が出合い、双方から持ち寄った酒さかなを開いて一献酌み交わしながら、「荷継ぎ」といって目録とともに荷物の受け渡しをした。

嫁入り荷物は、荷継ぎ以外の場所では地上に据えることをきらい

時おり「息杖」を立てて交替しながら運んだものである。

近年は、交通事情はよくなり、嫁入り荷物の輸送方法は、すべて自動車で一気に運ばれるようになり、このような荷渡し風景はほとんど見られなくなった。

次回からは人生最大のドラマ「祝言（しゅうげん）」——結婚式——の模様です。

新婚です

よろしく

▼ 今月の料理 ▲

さといもの鶏みそ煮

「材料 四人分」

さといも：六〇〇g、砂糖：大サジ四、ミックスみそ：二〇〇g、

鶏ひき肉：一〇〇g、酒：大サジ三、植物油：大サジ二

①里いもは皮をむき、乱切りにして塩水でゆで、洗って水けをきる。

②みそ、酒、砂糖、鶏ひき肉をまぜ合わせる。

③厚鍋を熱して植物油をとり、その中に里芋を入れて十分に炒め、②を加えて、弱火でまぜながらこげると前まで火を通してむらなく味をなじませる。

器に盛ってレモンの皮のせん切りを散らす。



ふるさとへの便り

やっぱりいい親元

日曜日にはせつせと帰省



私が中学を卒業して岐阜へ来てもう四カ月を過ぎました。

就職先の関係で、卒業式後たったの一週間家にいただけ岐阜の方へきてしまいました。もっと家にいたく、東白川を離れて行くときは寂しかったです。

それに一カ月くらいはやっぱり寂しかった。四カ月たった今もまだ家に帰りたくて日曜日にはせつせと帰っています。

病院・学校のほうはもう慣れて友だちもできてがんばっています。病院では慣れたといっても、まだまだ未熟で失敗が多くて困っています。今は少なくなりましたが、注射器を割ったり、レントゲンのフィルムをだめにしてみたり……

寮では十二人住んでいて、先輩は年がはなれているけど、みんなおもしろい人ばかりです。とても愉快です。

ところで学校のほうは、毎日行く准看学校と週二日だけ行く華陽高校とがあって、准看学校はお屋敷に行くもんですから、もう眠くて眠くて……ついコックリがでてしまいます。

病院で働く時間は、午前中と准看学校が終わって四時半ごろから五時までで、後は寮へ帰るだけです。高校のある日は、病院へはもどらず准看学校が終わってから直接高校へ行くようにしています。高校へは二年間は週二日、三年生からは毎日行くようになっていきます。

高校の授業が終わって寮へ帰るころはもう真っ暗で、寮に着くともう九時半ごろになってしまいます。でも、もう慣れました。

乞ご期待

郷土歌舞伎の公演



村の郷土歌舞伎が、実に26年ぶりに公演されます。時代の流れとともに衰退した郷土歌舞伎は昭和29年を最後に、その姿を消していましたが、昔親しんだ人たちの根強い愛着が、ついに公演にこぎ着けました。71歳の松岡政夫さんを歳頭に20代の人も加わって演ずる郷土歌舞伎にご期待ください。

—9月29日の公演をめざし熱のはいったけいこを続ける愛好会の人たち。—

これからも失敗にめげずいっしょうけんめいがんばります。

どうか東白川の皆さんも体に気をつけてお暮してください。

岐阜市津島町の十四
山内胃腸病院
職員寮
桂川京子
—陰地桂川富行
さん長女



あなたの作品をお寄せ下さい。
・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。
・毎月末までに神戸田口良三宛に出して下さい。

秋空の下に傾きし祖父の墓直して洗い彼岸も近し

大朝神 安江 英樹

摘み込みしお茶と一夜を明かす夜の狭き我家にやわき香は満つ

大朝神 安江 香

出荷籠に体寄せ合いうづくまる鶏はつぶらな眼ひらき

朝山 安江 幸

青空を茜に染めて陽は落ちぬ木々の梢を透きて明るき

朝山 加藤 公一

御嶽の湖水の底の水澄みて盛夏の山の乾きはげしき

平 安江 竹子

鶏の眼に何と映るや合羽着て餌や吾おひてさわぐ

西岡 安江 澄

忘れしか庭に虫籠わびしけれ外孫帰りし夏の夕べを

神付 山口登美江

朝顔の萎ひし花を摘みすてて清しき明朝を樂しみて寝む

平 沢木 岸乃

派手やかな孫の浴衣を仕立て上げ鏡の前にまどひみる吾

加倉尾 今井 志津

病棟の庭に咲きつぐ四季の花をひがみ心も忘れて見居り

東白川病院 安江 奈梨

屋敷時無邪気に呼ばふ園児らに思はず握るポケットの飴

平 安江 守平

門柱にのうぜんかつら咲かしてて庄屋の齋はつつましく住む

下野 安江と志江

対岸の青葉の山よりきこえる郭公の声に事務の手休む

宮代 今井 米子

親不孝わびつつ母の骨拾ふ永久の別れの火葬場に来て

宮代 古田 光男

手の甲に噛みつく蟻の身構えは吾をひきずりゆく所存らし

田口 良三

前号正誤 安江と志江さんの作品中三十六株は二十四株の誤につき正します (選者)